

平成12年 2月10日

No.

82

編集・発行 小浜市議会事務局



平成12年 消防出初め式

年頭あいさつ

小浜市議会議長 山崎勝義



とお慶び申し上げます。

新年明けましておめでとございます。

西暦二〇〇〇年という記念すべき年

であり、大きな節目となる本年、市

民の皆様におかれましてはご家族お

揃いで新春をお健やかに迎えのこと

とお願い申し上げます。

昨年は国内外におきましても本市にとりましても心の痛む事が多くありましたが、唯一昨年暮れに長年の悲願でありました小浜線電化について着工に向け、JR西日本と福井県・嶺南広域行政組合との間で事業協定の締結がなされ本年七月にも着工の見通しという明るいニュースが入りました。今後の若狭・嶺南の飛躍に大きなはずみとなることと喜んでいるところであります。これも皆様の「乗る運動」を始めとしたご協力、ご支援のたまものと深く感謝申し上げます。

議会と致しましても交通網の整備はもとより景気対策、行財政改革の推進、広域行政の推進など多くの課題に向けなお一層の運動を展開してまいる所存であります。

また、平成十年六月定例会よりCATVにて本会議の放映を致しておりますが、市民の皆様は議会をより身近なものとしていただくため、一層充実したものにしていかなくてはならないと思っております。さらに、出来る限り市民の皆様と対話の出来る機会を多く持たせていただきたいと思っております。

議員一同、皆様のお心をしっかり受け止め、身を引き締め、皆様と共に誇りをもって語れ、こよなく愛せる小浜市を創っていくために議会人としてより一層精進してまいりますので、今後ともご支援、ご指導よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、市民の皆様のご健勝、ご多幸そして更なる飛躍をご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

平成11年第6回定例会 (12月8日～21日) 概要

12月定例会

認定13件を認定、補正予算9件・条例4件・その他2件を可決。陳情1件を採択。

平成十一年第六回小浜市議会定例会が十二月八日に招集され、会期を十二月二十一日までの十四日間と決定し、直ちに審議に入りました。

今定例会には、「平成十一年度小浜市一般会計補正予算(第五号)」など議案十五件と陳情一件が上程されました。

初日の八日は、閉会中の継続審査となっていた認定十三件について、決算特別委員長から審査の経過、結果が報告された後、討論が行われ、採決の結果、全て認定しました。

次に議案十五件が上程され、提案理由の説明、質疑の後、それぞれ所管の常任委員会に付託しました。

翌九日から十三日までを休会とし、十四、十五日の両日、本会議を再開し、十四名の議員が市政各般にわたり一般質問を行いました。(一般質問ハイライトは別記のとおり)

その後、陳情一件が上程され、所管の常任委員会に付託しました。

翌十六日から二十日までを休会とし、その間各常任委員会において付託された議案、陳情について審査を行いました。

二十一日に本会議を再開し、はじめに陳情二件を閉会中の継続審査とし、続いて各常任委員長からそれぞれの付託議案、陳情について審査経過、結果が報告された後、討論が行われました。その後、各議案等について採決が行われ、全て原案のとおり可決および採択し、今定例会を閉会しました。

議案番号	件名	提出者	審議結果
【認定】 認定第1号	平成10年度小浜市一般会計歳入歳出決算の認定について	市長	認定
認定第2号	平成10年度小浜市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃
認定第3号	平成10年度小浜市加斗財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃
認定第4号	平成10年度小浜市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃
認定第5号	平成10年度小浜市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃
認定第6号	平成10年度小浜市老人医療特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃
認定第7号	平成10年度小浜市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃
認定第8号	平成10年度小浜市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃
認定第9号	平成10年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃
認定第10号	平成10年度小浜市西津東部地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃
認定第11号	平成10年度小浜市地域振興券交付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃	〃
認定第12号	平成10年度小浜市国民宿舎事業会計決算の認定について	〃	〃
認定第13号	平成10年度小浜市水道事業会計決算の認定について	〃	〃

一般質問 ハイライト

12月定例会の一般質問は、12月14日、15日の両日に行われ、池尾議員をはじめ、山本、杓子、清水、西本、宮崎、小堂、池田、石橋、富永、岡尾、荒木、中野、松尾議員の14名が、市政各般にわたり質問を行いました。
(質問と答弁の主な要旨は次のとおり)

男女共同参画社会

Q 男女共同参画社会実現のための今日までの取り組み、実施状況および現状についてお尋ねする。

A 国では平成十一年六月に「男女共同参画社会基本法」を制定し、県においても平成十年、「ふくい男女共同参画プラン」を策定している。本市では平成十年に策定した行政改革大綱の中で、庁内における男女共同参画社会醸成のための基本指針を定め、女性の各種審議会等への積極的登用を図るなど市全体で取組みを行うこととしている。また、女性の管理職への登用や責任ある職務への配置等も行

う予定である。しかしながら、その計画については施策も含め体系づけられていないのが現状であり、現在、策定中である総合計画の中に組み入れてプランづくりを行いたい。担当部署の設置については、当面は庁内の政策を企画調整する課で窓口所管として対応していきたいと考えている。今後、小浜らしい男女共同参画社会をどう築いていくのか、その方策、体制について全庁的な幅広いセクションで検討を進めていきたい。

予算編成

Q 平成十二年度予算編成について、次の点をお尋ねする。

A 平成十二年度において
① 平成十二年度予算編成について、
② 骨格予算か通常予算か
③ 税収の予定額と今後の収入について
④ 平成十二年度において、本市の財政状況は非常に厳しい。しかしながら、西暦二〇〇〇年の節目にもあたることから、重要施策の積極的な展開を図り、事務事業の見直しや経常経費の節減合

理化を予算編成の基本方針として進めていく。特に交通網体系の整備や健康づくりの推進、生活環境の整備については重点的に配分したいと考えている。

② 小浜市長の任期は、平成十二年八月四日までとなっており、仮にそれまでの半年間を骨格予算とし、補正予算で政策的な経費を措置することになれば、一年を通しての予算の一体性を失い、計画的な財政運営を困難にすることになりかねない。行政運営は片時も滞ることがあってはならず、半年間も空白の期間があつてはならないと考えている。本市の過去の例でも、七月選挙の場合は全て通常予算を組んでおり、十二年度においても通常予算を編成したいと考えている。
③ 平成十一年十一月末における収納率は、現年度分が六十三・一％で、昨年と同じ時期より一・七％下回っている。その理由は、全期前納者が減少したことや不況による影響のためと思われる。しかしながら、年度末には昨年度並みの九十八％程度の収納率が確保できるものと考えている。

行政施策の重点事項

また過年度分については、今年度の十一月末時点での収納率が十二・九％と昨年度の同時期の七・六％を大きく上回り、既に昨年度とほぼ同額を収納している。収納率の向上については、今年度より徴収係を充実するなど収納体制の改善を図ったことが理由と考えられる。今後も、税の公平性と収納の向上に努めていきたい。

Q 行政施策の重点事項について、次の点をお尋ねする。

A 行政施策の重点事項について、
① 小浜のまちの特色づけについて
② まちづくり（第四次総合計画）の方策について
③ 地域合併について
④ 健全財政への取り組みについて

① 先に実施した住民意識調査では、本市の特色について「美しい自然や海」「海産物等の新鮮な食材」「豊かな歴史や文化財」という回答が寄せられた。今後は、現在策定している第四次総合計画において皆様からいただいた

様々なご意見やご提言を参考にし、また過去の成果等を活かしながら多くの方々を訪れていたいただけるような市の活性化方策をたてていきたい。
② 総合計画の策定にあたっては、二十一世紀の小浜市のビジョンをいろいろな角度から研究するため、各界各層の皆様から幅広く意見を取り入れていきたい。庁内組織については、「総合計画検討委員会」をはじめ、専門的事項を研究するための六つの「ビジョン部会」を、さらには若い職員からの意見や提言を聴くために「若手研究会」を設置し、作業を進めている。また市民の皆様からご意見をお聴きするため、アンケート調査を実施させていただいたところである。この調査結果については現在分析中であり、終わりは次第、市民の皆様にお知らせしたいと考えている。さらに住民の提言募集も行わせていただき、皆様からご提言をいただいているところである。現在、検討委員会においては第三次総合計画の検証作業を行っており、この中で問題点を集約し、さらに新たな課題を加えた中で構想や施策の体